

令和 5 年度			2 学年	普通 科	
教科名	理科	科目名	化学基礎（理系）		2 単位
1. 学習目標					
1 化学は、物質を探究し、創造する学問として、人類に貢献していることを理解する。 2 物質の構成粒子とそれが構成する物質、および、物質が様々な変化をして他の物質をつくることを理解する。 3 物質についての基本的な粒子概念、原理、法則などを、身近な物質や現象を通して理科し、習得させるとともに、生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。					
2. 使用教材等					
・教科書名 数研出版 高等学校化学基礎					
・副教材名 数研出版 リードLighノート化学基礎 実教出版 サイエンスビュー化学総合資料					
3. 学習項目（学習内容）					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	<ul style="list-style-type: none"> 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合とその物質の性質を理解する。共有結合を電子配置と関連付け、分子からなる物質の性質を理解する。金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。 	50	中間考査
	5				第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応
6	2			8	
7					
3					
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを 探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。				
②思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現 している。				
③観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの 科 過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学 的に探究する技能を身に付けている。				
④知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理 解し、知識を身に付けている。				
5. 評価の方法					
・定期考査：	中間考査、期末考査を行う。評価基準点に達しない場合は単位認定を行わない。				
・課 題：	通常授業内のプリントの提出状況を成績に反映させる。				
・授業態度：	出欠席や遅刻早退の状況を中心に考慮する。				
・実験レポート：	レポートの結果や考察・感想の的確さを点数化して評価します。				
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> 自分の周りにある身近な物質がどんな性質を持っているか興味を持ちながら学習しましょう 化学は物質の性質を調べる学習をします。まず、物質の名前の基本である元素記号、化学式、イオンを正確に覚えることから始めましょう。また、化学で使う計算は比例計算がほとんどです。割り切れる値ばかりではないので、基本的な四則計算は間違えないようにしましょう。 普通科必修科目です。さらに理系希望者は2，3年時の「化学」の基礎知識になります。 					